

能登棚田米通信 Vol.18 H28.9.1

◎「能登棚田米」トピックス

- (1) 能登棚田米が、平成25年の「北陸新幹線みらい応援債」の購入特典に続き、今年度は「ほっと石川観光応援債」の購入特典に採用されました。
- (2) 6月10日、穴水町大坪において現地研修会が開催され、当日の様子は、ケーブルテレビにて放映されました。
- (3) 5月29日輪島市町野町寺山地区を皮切りに、珠洲市真浦、輪島市門前町久川において学生ボランティア団体「能登ラボ」のメンバーが、イノシシ被害防止のため、電気柵の設置作業に汗を流しました。
また、今年度は新たに穴水町大坪において7月23日に電気柵の設置作業が行われました。
- (4) 8月19日、セルリアンタワー東急ホテルで開催された「いしかわ百万石マルシェ」において取り組みと商品のPRを行いました。



電気柵の設置について聞きいる学生のみなさん



「いしかわ百万石マルシェ」での商談

◎ 栽培管理・技術情報

- (1) 間もなく収穫時期を迎えます。これまでの努力を無駄にしないためにも**適期刈取り、適正な乾燥調製作業**を行ない、高品質米の生産に努めましょう。
また、刈り取りまで日数がある水田では、適正な水管理（①乾かさない！ ②ずっと溜めない！ ③早期落水しない！）を継続し、登熟の向上に努めましょう。
- (2) 籾すり機の点検・整備を実施しましょう。作業開始前だけでなく、作業中も合間を見て調整を実施してください。
- (3) 収穫後は「稲わら」を全量すき込んで土作りに努めて下さい（**耕起は必ず暖かいうちに行ってください**。寒い時期にすき込むと、分解する微生物の働きが悪いため、春先のワキの原因となります）。

◎栽培履歴の提出について

事前にお配りしている「平成28年産能登棚田米コシヒカリ栽培履歴記録簿」を記載し、**米の供出前に必ず、お近くの基幹 JA 支店窓口までお届けください。**

◎サンプルの提供のお願い

本年度も全生産者を対象に米の品質・食味調査を実施し、分析結果がまとまり次第、結果をお返しいたします。

つきましては、**JA に出荷する際に玄米2キログラムの提出をお願いします（お手数ですが入れ物をご準備ください）**。「能登棚田米」のPR、評価向上のため、是非ご協力いただきたくお願い申し上げます。

裏面に続きます

◎【注 意】専用玄米袋の回収について

「能登棚田米」は厳密に数量管理を行い、ブランド価値を守るために専用の玄米袋を使用しています。「能登棚田米」が不正に流通しないよう、必要枚数のみを使用し、余分が生じた場合は必ずJAにご返却ください。

◎【重 要】ライスセンター受け入れのご案内

JA からのお知らせ

JA おおぞら諸橋ライスセンター（穴水町明千寺1字111）で、能登棚田米コシヒカリの籾受入を実施いたします。

利用希望者は、必ず受け入れの前日までに諸橋ライスセンターまでお申し出下さい。

電話番号 0768-57-1241

※ご自分で籾搬入が出来る方のみとし、受入期間については、9月7日～30日の間で調整します。



ご不明な点がございましたら、お近くのJA または、奥能登農林総合事務所（0768-26-2323）までお問い合わせください。